



株式会社常磐植物化学研究所

サステナビリティレポート2022

Tokiwa Phytochemical Sustainability Report 2022



目次

tokiwaは様々なSDGs活動に取り組んでいるたむ！



オリジナルキャラクター
べねたむ

- p.4 トップメッセージ
- p.5 設立趣意書、経営理念、行動規範
- p.6 サステナビリティ基本理念
- p.8 サステナビリティトピックス
- p.9 常磐植物化学研究所の事業とSDGs
- p.10 常磐植物化学研究所の製品利用
- p.11 事業継続力の強化、BCP宣言

【教育への取り組み】

- p.12 中学生向けCSRの開催
- p.13 高校生向け実験講座の開催、佐倉サイエンスアカデミー
- p.14 大学生向けオンライン講義、エコアクション普及セミナー

【植物化学発展への取り組み】

- p.15 マテ熱水抽出物の抗肥満効果とその作用機序の解明、マウンテンハーブエキスの皮膚光老化抑制効果
- p.16 研究機関・大学の共同研究、自社研究報告、植物化学に関する報告、研究会への参画・寄付・協賛、植物化学に関連する各種加盟団体

【社会への取り組み】

- p.17 理化学研究所環境資源科学研究センターのSDGsへの取り組み支援、NPO法人せんなり村への図鑑・ブルーベリーの寄贈、薬用ハーブ辞典
- p.18 佐倉ハーブ園
- p.19 ウクライナ支援募金、地域消防団への参加、佐倉市の教育・福祉への寄付・寄贈、根郷小学校校旗寄贈
- p.20 常磐法被の作製、献血、日本橋薬祖神への奉納、防災訓練

目次

【環境への取り組み】

- p.21 環境経営方針
- p.22 EA21 登録事業所の概要
- p.23 EA21 環境経営組織図及び実施体制
- p.24 EA21 2021年度の環境活動内容
- p.26 EA21 環境活動の取組計画と評価
- p.30 EA21 2021年度環境活動報告
- p.31 EA21 環境活動取り組み例

【健康経営への取り組み】

- p.33 健康経営宣言
- p.34 新型コロナウイルス感染予防対策、
ウォーキングイベントへの参加、
健康経営サプリメントTM

【働きやすい環境づくり】

- p.35 ハラスメント防止対策
- p.36 ワークライフバランス、女性の活動支援
- p.37 経営理念研修、キャリア支援、永年勤続・優良従業員表彰
- p.38 人と人との繋がる職場づくり、若手社員の日帰り旅行、
loni制度

【労働安全・衛生への取り組み】

- p.39 労働安全衛生方針
- p.40 労働安全・衛生への取り組み、
自主的な安全衛生管理の向上、
健康の保持促進と快適な職場環境の形成、
資格取得促進・法令遵守

トップメッセージ



～～持続可能な発展を目指して～～

常磐植物化学研究所のサステナビリティレポート2022をご覧ください。誠にありがとうございます。人と植物を繋ぐ重要な役割を担っているのが、植物成分（ファイトケミカル）です。そして、植物のちからを引き出し、新たな価値を創造し、人々の健康と暮らしを豊かに変えていくことが、私たち、常磐植物化学研究所の使命です。植物に生かされていることに感謝し、人と植物が共存共栄できる社会を実現して参ります。2008年に環境経営システム導入し、2009年から「社会・環境報告書」、2014年から「CSR Report」、2020年から「サステナビリティレポート」として活動報告しており、2021年から本報告書の中で、行動規範、環境経営方針、BCP（事業継続計画）宣言、健康経営宣言、労働安全衛生方針を明記し、2022年「ハラスメント防止宣言」を新たに加えております。サステナブルな地球社会に必要なのは、サステナブルな人と組織です。サステナビリティを常に意識し、事業活動を通じて、人と植物の明るい、持続可能な社会づくりに貢献していきたいと思ひます。

立崎 仁

設立趣意書

本社は薬学博士松尾仁氏を中心とする研究陣の豫ねて理想とする
植物化学の成果の医薬的応用により、
社会公衆の福祉増進に寄与することを念願として設立するものである。
したがって本社の事業は単に営利のみを目的とせず、
一半の力を植物化学の発達にも投ぜんとするものである。
若し之に依って祖国再建の礎石の一半を荷うこととなれば、
本社設立の主旨は達成されたに近い。

昭和二十四年八月
株式会社常磐植物化学研究所 設立発起人

経営理念

私たちは、
植物のちからを引き出し、新たな価値を創造します。
最高の技術で、最高の製品を製造します。
社員の幸福と社会の発展に貢献します。
そして、植物に感謝し、生かされる会社になります。

行動規範

私たちは、『経営理念』と、以下に定める『行動規範』を遵守します。
そして、地域、社会の未来を牽引できる倫理観を持ち続け、社会的責任を果たします。

1. 人間として正しい行動をします。
2. 人の命と健康、人権、文化、宗教を尊重します。
3. 学び、成長の機会を生涯持ち続けます。
4. 事業継続力(BCP、SDGs*)を高めます。
5. 薬事に関する法令遵守の体制を構築します。
6. 法令を遵守します。
7. 個人・機密情報を守り、正確に情報発信します。
8. 反社会的勢力との関係を排除します。

*)BCP：事業継続力強化計画、SDGs：持続可能な開発目標

社長、役員、部門長は、本規範を率先垂範し、従業員の人間力向上に努めます。

サステナビリティ基本理念

植物のちからを引き出し、新たな価値を創造し、
人々の健康的な暮らしと社会の発展に貢献します。

植物資源の調達から、植物化学研究、製品化まで、地球環境、
社会への影響を重視し、持続可能な開発を目指します。

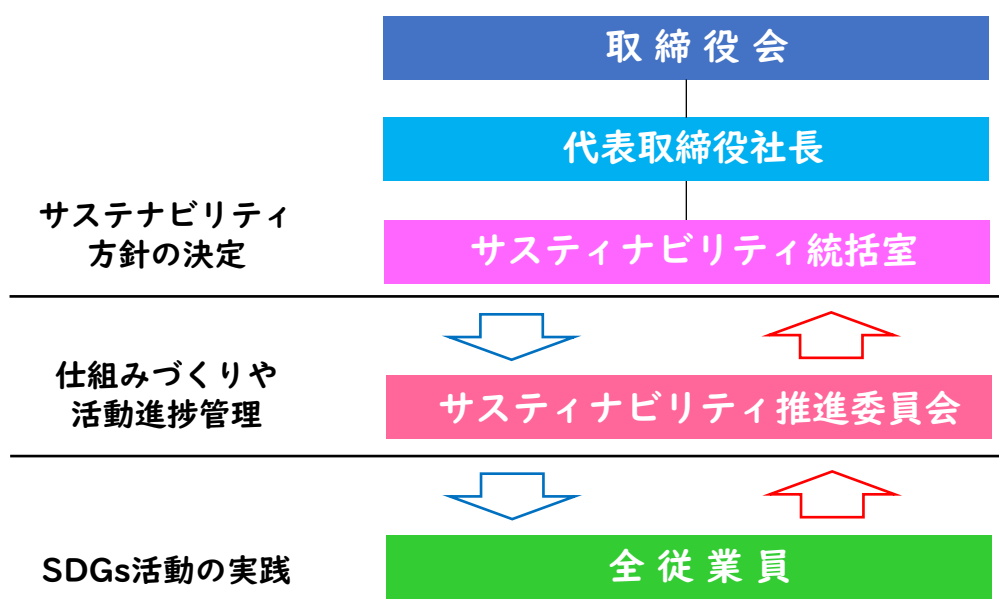
また、薬用植物の栽培や次世代への教育を通じて、
植物への感謝を示し、人と植物の明るい未来づくりに貢献します。

常磐植物化学研究所のSDGs推進体制

SDGs（Sustainable Development Goals）とは、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」にて全会一致で採択された2030年までの新たな「持続可能な開発目標」で、17の目標と169のターゲットから構成されています。

常磐植物化学研究所では、2020年4月より代表取締役社長のもとに「サステナビリティ統括室」を、その配下に「サステナビリティ推進委員会」を設置しました。

様々な事業・CSR活動を通してSDGsの実現に貢献していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



サステナビリティピックアップ

“勇気ある経営大賞 優秀賞” を受賞

2021年7月20日、勇気ある経営大賞優秀賞を受賞。
千葉県に本社がある企業としては初受賞となります。

「勇気ある経営大賞」とは、東京商工会議所が、過去に拘泥することなく高い障壁に挑戦し、理想の追求を行うなど勇気ある挑戦をしている中小企業またはグループを顕彰する制度です。

機能性表示食品対応素材の拡充および健康経営への取り組み強化へのかじ取りが高く評価されました。



“スタ★アトピッチJapan (関東ブロック) りそな銀行賞” を受賞

日本経済新聞社が主催する

「第3回スタ★アトピッチJapan」の関東ブロック大会にて、
りそな銀行賞を受賞しました。

スタ★アトピッチJapanとは、新規事業を立ち上げ、その成長に挑んでいる企業の経営者らによるピッチランコンテストです。

当社の新規事業「健康経営サプリ™」の取り組みが評価され、
受賞となりました。



“ウェルネスフードアワード※2021 食品素材部門銅賞” 受賞

展示会「ウェルネスフードジャパン2021」内で開催された「ウェルネスフードアワード2021」の食品素材部門にて、tokiwaのオリジナル素材「ベネトロン®」が銅賞を受賞しました。

※ウェルネスフードアワード：人々のQOLを向上する
食品・食品素材にフォーカスした食品アワードです。



常磐植物化学研究所の事業とSDGs

3 すべての人に
健康と福祉を



植物のちからを健康に。

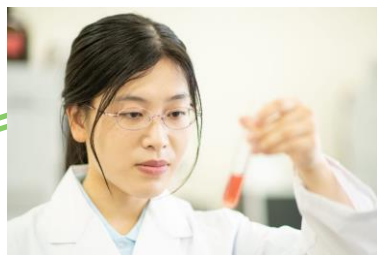
常磐植物化学研究所では、植物成分（ファイトケミカル）を抽出・精製し、医薬品や化粧品、機能性表示食品などに配合される原料を製造しています。当社の名前が消費者の皆様の目や耳に入ることはないかもしれませんが、当社原料は陰ながら、人々の健康に貢献しています。

近年は機能性表示食品制度に対応した素材開発に注力しており、当社原料を配合した機能性表示食品は累計200商品を超える受理実績があります。

※機能性表示食品制度：

事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品です。販売前に安全性及び機能性の根拠に関する情報などが消費者庁官へ届け出られたものです。

研究開発



品質管理



技術開発

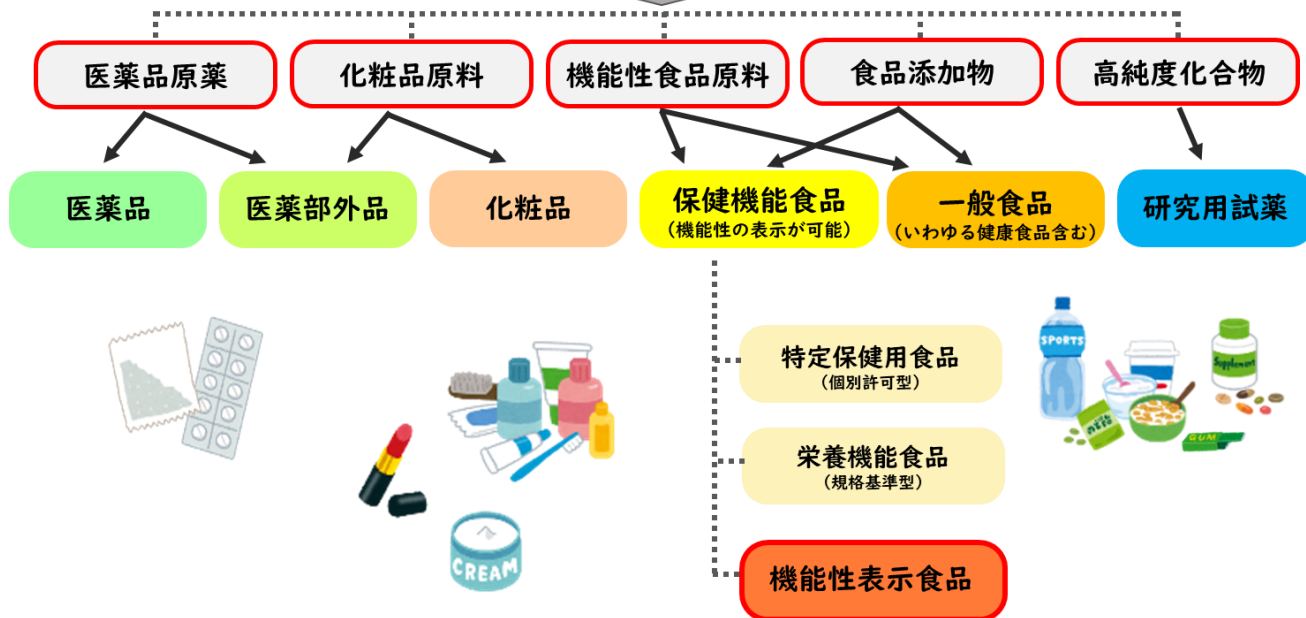
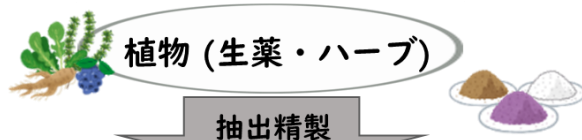


製造



常磐植物化学研究所の製品利用

3 すべての人に
健康と福祉を



機能性表示食品対応素材 12製品

睡眠の質向上
ラフマ

VENETRON®



オーラルケア
月桂樹

LAURESH®



アイケア
ビルベリー

BILBERON®



アイケア
ビルベリー

ビルベリー
冷凍果実



アイケア
マリーゴールド

マリーゴールド
エキス



記憶力・判断力の向上
イチヨウ

GINKGOLON



体温維持
ショウガ

Ginger warmer



食後血糖値
クワ葉

クワ葉エキス末



空腹時血糖値
バナバ

コロソリン酸



肌の潤い
コメ

ライスセラミド



骨の成分維持
大豆

ISOMIX



脂肪減少
脂質の吸収抑制
茶

ティアカロン



事業継続力の強化



2021年3月に、“事業継続力強化計画”の認定を受けました。事業継続力強化計画とは、中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定する制度です。当社では独自のBCP宣言（下記）を策定しており、有事の際には宣言に従い行動します。今後も防災・減災対策を促進していき、事業継続力強化に精進して参ります。



BCP宣言

私たちは、あらゆる天災、人災等のリスクに対し、5つの方針を守ります。そして、BCPの策定と継続的な見直しの実施を宣言します。

1. 自然・社会・日常への感謝

私たちが日々平穏に生きていられるのは当たり前ではないことを意識し、自然・社会・日常へ常に感謝します。

2. 従業員の命と暮らし

天災、人災等のリスクが発生した際には、何よりも常磐植物化学研究所で働く従業員とご家族の命、安全、そして暮らしを守ることを最優先に行動します。

3. 信用と信頼

事業を継続・早期回復し、あらゆるステークホルダーからの信用・信頼を守ります。

4. 透明性のある情報開示

社内外における情報収集を徹底し、必要な情報を迅速に開示・提供します。

5. 地域、社会への支援

困っている人の立場に立ち、地域・社会との協調・連携、復旧・復興支援などを通じて、社会貢献に努めます。

制定年月日：2021年3月1日
株式会社常磐植物化学研究所
代表取締役社長

立崎 仁

教育への取り組み



常磐植物化学研究所は実験講座、体験実習を通じて科学が身近にあることを体感してもらい、次世代の科学技術系人材の育成の貢献に取り組んでいます。

戦後初の植物化学企業として、製品の販売だけでなく、化学発展の一助になればと考えています。

子供が科学技術に親しみ、学ぶことができる環境や科学技術に才能を有する子どもを見出し延ばすことができる環境を提供するため、理数実習の充実に努めています。

中学生向けCSRの開催

2021年9月28日と10月6日の2日間にかけて、佐倉市立南部中学校の2年生を対象に、「①tokiwaのSDGsへの取り組み紹介」および「②工場・佐倉ハーブ園見学会」のCSR活動を行いました。

「①tokiwaのSDGsへの取り組み紹介」では、南部中学校にて当社のSDGsへの取り組みについて講演しました。教育・環境・社会への取り組みについて講演するとともに、当社社長の立崎のこれまでの人生についてもお話させていただきました。生徒の皆さんは非常に真剣な眼差しで講演を聞いてくださり、質疑応答ではSDGsに関する鋭い質問もありました！

「②工場・佐倉ハーブ園見学会」では、約60名の生徒・先生方に来社いただき、当社の工場と佐倉ハーブ園の見学会を行いました。工場では、大きなスケールで製品が製造されていることに驚いていたり、佐倉ハーブ園ではたくさんのハーブに触れあったりオリジナルハーブティを飲んだり、とても楽しんでくれました。

今回のCSR活動を通して、いつも生徒さんたちが通学路として前を通っている当社についてよく知ってもらうことができ、とてもよい機会となりました。今後も植物や科学、そしてSDGsについて興味を持ってもらえるよう、活動してまいります。



高校生向け実験講座の開催

2021年7月27日に、千葉県立佐倉高等学校の生徒19名を対象に、植物成分を精製する実験講座“佐倉アカデミア”を行いました。2012年から行っているこの佐倉アカデミアは、今回で10回目。実験内容はカラム精製の原理を学びながら、抽出液からアントシアニンを精製するというものです。

スルー液・洗い液は色がほとんどないのに対し、脱離液はアントシアニン由来の色が出ていて、精製の様子を目で見て感じ、考察できる内容でした。生徒の皆さんは、講義は真剣な眼差しで聞き、実験はグループで楽しそうに行っていました。

実験講座の後は、工場・ハーブ園の見学をしました。実験で行った精製が、工場ではどのような機械・スケールで行われているのか説明を受けると、驚きの表情をしていました。

今回の実験講座を通じて皆さんが少しでも科学や植物化学に興味をもってくださり、この中から理系の進路や植物化学の研究者など志す方が少しでも現れれば、とてもうれしく思います。



佐倉サイエンスアカデミー

2021年12月10日に第1回佐倉サイエンスアカデミーを実施しました。

佐倉サイエンスアカデミーとは、世界で活躍されている研究者の方々に、植物化学（科学）の歴史から最新トピックスまで、幅広い領域をわかりやすくお話していただく、オンライン講義です。

第1回は齊藤和季先生（理化学研究所 環境資源科学研究センター長、千葉大学 植物分子科学研究センター長、千葉大学名誉教授）を講師にお招きし、持続可能な世界に貢献する植物科学の役割について、大変貴重なご講義をしていただきました。

高校生や大学生などを含む100名を超える方にご聴講いただきました。

▼佐倉サイエンスアカデミー公式サイト

<https://sakura-sac.tokiwapph.co.jp/>



佐倉サイエンスアカデミー



大学生向けオンライン講義①

2021年11月19日に、東京農業大学の学生（約40名）を対象に、HACCP管理についての事業所実習をオンラインで行いました。

当社の品質保証室の社員が講師となり、食品を製造する企業としてのHACCP管理について講義を行いました。質疑応答の時間には多くの質問があり、関心の高さが伺えました。

受講した学生の皆さんが、HACCPはもちろん、様々なことに興味を持って取り組んでもらえたと思います。



大学生向けオンライン講義②

2021年11月22日に、東京情報大学のオンライン講義「地域再生システム論」にて、当社社長の立崎が講義を行いました。

「植物のちからを健康に。機能性表示食品開発からみる素材開発ビジネス」と題した講義の中で、第一部では当社がどのような事業を行っている企業なのか、SDGsへの取り組みを交えて紹介しました。

第二部では、立崎のこれまでの人生を踏まえた上で、コロナ禍を生きる学生の皆さんにエールを送りました。オンラインでの講義でしたが、質疑応答の時間にはたくさんの質問および感想をいただき、ライブで回答させていただきました。

学生の皆さんが熱心に聴講してくれて、とても嬉しかったです。

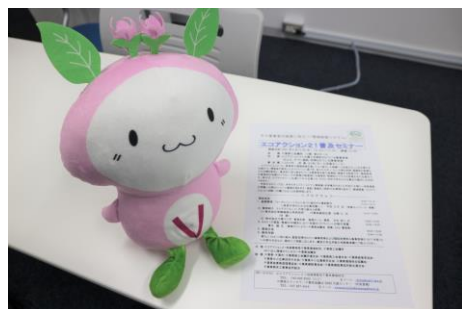


エコアクション21（EA21）普及セミナー

2021年9月15日に「エコアクション21（EA21）普及セミナー」がオンライン開催され、事例紹介として当社のEA21活動について社長の立崎が講演しました。EA21は、環境省が策定したガイドラインに基づいた環境経営に関する第三者認証・登録制度です。

当社ではこのEA21の認証を2009年から継続して取得しています。今回のセミナーでは、認証取得に至る背景や現在の取り組み状況、そしてSDGsへのつながりについて講演しました。

当社の講演内容が、聴講企業のEA21の取り組みに対し、少しでも参考になれたなら幸いです。



環境省
エコアクション21
認証番号 0003872

「植物化学発展」のための取り組み

3 すべての人に
健康と福祉を



常磐植物化学研究所は植物化学の発展への貢献活動の一環として、関連する学会、機関、大学等への参画、協賛、共同研究等を行っています。

【共同研究：武庫川女子大学】 マテ熱水抽出物の抗肥満効果とその作用機序の解明

武庫川女子大学薬学部薬学科・高明教授との共同研究にて、「マテ抽出物」が脂肪細胞における中性脂肪の蓄積を抑制する効果が示されました。

さらに、そのメカニズムとして、「マテ抽出物」が脂質代謝に関与する2種のシグナル経路を活性化し、脂質合成抑制と分解促進の両作用を介して、脂質代謝改善効果を発揮することを確認しました。

動物試験では、体重増加の抑制や空腹時血糖値の低下、血中コレステロール値の低下を確認し、「マテ抽出物」に抗肥満効果があることが示唆されました。

今後、「マテ抽出物」をダイエット・抗メタボを訴求する機能性表示食品の新素材として機能性研究を更に重ねていきます。



【共同研究：星薬科大学】 マウンテンハーブエキスの皮膚光老化抑制効果

星薬科大学・里文明講師との共同研究にて、当社独自の植物エキス「マウンテンハーブエキス」に紫外線照射時のMMP-1発現抑制作用があることが示唆されました。

MMP-1は真皮の皮膚線維芽細胞に存在するコラーゲン分解酵素で、紫外線照射によりMMP-1の発現量が増加することで、皮膚の老化に繋がるとされています。

ヒト皮膚線維芽細胞に「マウンテンハーブエキス」を添加することで、MMP-1の発現が抑制されることを確認し、「マウンテンハーブエキス」に紫外線照射によって誘導される皮膚の老化を防ぐ効果が期待できることを見出しました。



研究機関・大学の共同研究

(研究機関) 理化学研究所環境資源科学研究センター、国立医薬品食品衛生研究所、
東京都医学総合研究所 等

(大学等) 東京大学、千葉大学、星薬科大学、北里大学、武庫川女子大学、横浜市立大学 等

自社研究報告

- ・「甘草」なのに「甘くない」のはなぜ？グリチルリチン生産性の分子メカニズムを解明
- ・新型コロナウイルスに対する阻害剤スクリーニング法の開発とその応用
- ・和漢植物複合エキスによる新習慣「五行週間」
- ・All-Trans Retinoic Acid Exhibits Antiviral Effect against SARS-CoV-2 by Inhibiting 3CLpro Activity
- ・Paclitaxel誘発末梢神経障害性疼痛に対する麻黄エキスとエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスの鎮痛作用
- ・黒ウコンポリフェノールによる長寿遺伝子産物SIRT1の活性化機構
- ・18 α -グリチルリチンは天然物か？(その2)：HPLCによる評価
- ・定量NMRを用いた日本薬局方・定量用試薬の規格化を目的とした生薬等の定量指標成分アミグダリン及びアルブチンの絶対純度の測定
- ・Structure-Activity Relationships of Flavonoids with Uncommon 8-hydroxyl from *Sideritis scardica*
- ・紫外線照射によるマトリックスメタロプロテアーゼ-1発現に対するマウンテンハーブの効果
- ・3T3-L1細胞におけるマテ熱水抽出物の脂質代謝改善効果と作用機序について
- ・黒ウコンエキスSIRTMAX®と黒ウコン由来ポリメトキシフラボノイドPURESIRTMAX®のSIRT1活性化を介した機能性
- ・The effect of ingesting of foods containing *Laurus nobilis* leaf extract (LAURESH®) on oral environment in healthy subjects —A randomized, double-blind, placebo-controlled parallel-group comparison study—
- ・黒ウコン由来ポリメトキシフラボノイド (PURESIRTMAX®) による長寿遺伝子産物の活性化とそのメカニズム
- ・Is 18 α -Glycyrrhizin a real natural product? Improved preparation of 18 α -Glycyrrhizin from 18 β -Glycyrrhizin as a positive standard for HPLC analysis of licorice extracts
- ・AlphaScreenを用いたハイスループットなSARS-CoV-2 3CLpro活性評価系の構築と阻害化合物の探索
- ・Paclitaxel誘発末梢神経障害性疼痛に対するエフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスの治療及び予防効果
- ・ハイビスカス抽出物による高脂肪食負荷動物モデルの体重増加抑制効果
- ・マテ熱水抽出物の体重増加抑制効果とその作用機序について

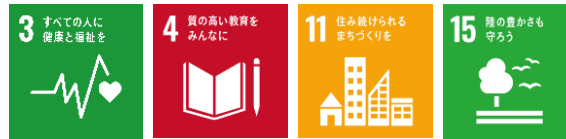
植物化学に関連する学会、研究会への参画・寄付・協賛

日本学術振興会、植物化学研究会、日本生薬学会、日本薬史学会、日本薬学会、日本抗加齢医学会、
日本農芸化学会、日本未病学会、日本フードファクター学会、薬用植物栽培研究会、和漢医薬学会

植物化学に関連する各種加盟団体

日本漢方生薬製剤協会、(公社)東京生薬協会、(公社)東京医薬品工業協会、
日本医薬品原薬工業会、(一社)千葉県製薬協会、(一社)日本食品添加物協会、
(公財)日本健康・栄養食品協会、(一社)日本栄養評議会、(一社)日本健康食品規格協会、
化粧品原料協会、甘草工業懇話会、ステビア工業会、(一社)日本ブルーベリー協会、
(一社)カシス協会、千葉県食品産業協議会、(一社)健康産業協議会

社会への取り組み



当社は、美化活動や佐倉ハーブ園の開放などの取り組みを通じ、地域・社会への貢献を推進しています。

理化学研究所環境資源科学研究所センター（CSRS）のSDGsへの取り組み支援

当社の共同研究先でもある『理化学研究所 環境資源科学研究所センター（CSRS）』では、SDGsの17の目標のうち、7つの目標に対する取り組みを進めています。

当社はCSRSの活動内容、特に植物を通じてSDGsに貢献している部分に深く共感し、活動を支援するための寄付を行っています。

NPO法人 せんなり村への図鑑・ブルーベリーの寄贈

第19回勇気ある経営大賞 優秀賞受賞を記念し、NPO法人 せんなり村（千成幼稚園）に図鑑とブルーベリーを寄贈いたしました。

子供たちの図鑑を見る楽しそうな姿や、ブルーベリーを美味しそうに食べる姿を想像すると、とてもワクワクしてきます。



薬用ハーブ辞典

佐倉ハーブ園ホームページ内の「薬用ハーブ辞典」では、29種類の西洋ハーブや東洋ハーブについて、学名、成分、生理活性等の情報を提供しています。

植物成分に関する情報の発信を通じた薬用植物の有効利用へ、今後も内容を充実させていきます。

▼佐倉ハーブ園ホームページ

<https://sakura-herben.tokiwapl.co.jp/>



佐倉ハーブ園

本社工場に隣接した場所に“佐倉ハーブ園”を開園し、誰でも気軽に立ち寄れるよう、無料開放しています。約5000㎡の広い敷地に、1000種類以上の薬用植物や生活に役立つハーブなどを植栽しています。

四季折々、触れて、見て、薫って、味わって、五感で楽しめます。毎月1回、ボランティアの皆様と共にハーブ園を整備する日を設け、様々なハーブの植え付けや収穫、切り戻し、株上げなどを行っています。

1996年に開園した佐倉ハーブ園ですが、2021年で25周年を迎えました。今後も地域の皆さんの憩いの場、そしてハーブを身近に感じ、学ぶことができる場として皆さんにご利用していただきたいと思います。

また、佐倉ハーブ園では、年間を通じて様々な体験イベントを開催しています。2021年度は計6回のイベントを開催し、多くのお客様にご参加していただきました。



▲上から見た佐倉ハーブ園▲



▲色とりどりのハーブ▲



▼HP▼ ▼facebook▼



“植物に感謝しよう！プロジェクト”

昨年に引き続き、5S活動の一環として常磐植物化学研究所の社員で佐倉ハーブ園の草取りを実施しました。日々お世話になっている植物に感謝の気持ちを込めて行いました。佐倉ハーブ園の植物たちも、草取りをしてもらって嬉しそうに見えました。



佐倉ハーブ園周辺の複数の箇所に、園の案内看板と園内マップを設置しました。

また、佐倉ハーブ園のラッピングカーを作成しました。ラッピングカーには佐倉ハーブ園宣伝大使の「べねたむ」と園のロゴがデザインされており、このラッピングカーを社用車として使いながら、佐倉ハーブ園のPRをしています。

看板とラッピングカーを活用して、これまで佐倉ハーブ園を知らなかった地域の方や、遠方の方に園を知っていただき、是非興味を持って訪れていただきたいです。



ウクライナ支援募金

佐倉市が実施したウクライナ支援募金に賛同し、社内で募金を実施。集まった募金は佐倉市へと寄付させていただきました。僅かばかりではありますが、困っている人々の一助となれば幸いです。



地域消防団への参加

佐倉市消防団第4分団に参加しています。佐倉市の防災訓練に参加すると共に歳末警戒活動などを通じて、火災予防を呼びかけしています。



佐倉市の教育・福祉への寄付・寄贈

第19回勇気ある経営大賞 優秀賞受賞を記念し、その賞金にて、佐倉市・佐倉市教育委員会・佐倉市社会福祉協議会に、当社から図鑑・寄付金・ハーブソースを寄贈いたしました。



根郷小学校校旗寄贈

地元にある根郷職学校へ校旗の寄贈を行いました。

地元への恩返しの一環として、子供たちの健やかな成長と学校の発展を願って校旗を寄贈させていただきました。



常磐法被の作製

千葉県佐倉市にある創業寛政年代の
三谷屋呉服店様に法被を仕立てていただきました。

更に地元に着した企業になれるよう、常磐法被
を着用して地域のお祭りやイベントに積極的に参
加していきます。



献血

輸血を必要としている人々の命を救うための助
けとなるべく、本社に献血カーを招いて、希望
者を対象に献血を行っています。



日本橋薬祖神への奉納

10月15日に日本橋の薬祖神で薬祖神祭が行われ、
薬への感謝と、一年の無病息災をお祈りしてきま
した。

今後も、歴史ある日本橋の薬祖神社の発展に協力
して参ります。



防災訓練

本社では年1回、全員参加の防災訓練を行って
います。2021年度も12月28日に行いました。社
員一同、実際に訓練用消火器を操作して、取り扱
い方法を再確認しました。



環境への取り組み



エコアクション21
認証番号 0003872

エコアクション21 (EA21)

常磐植物化学研究所は、環境経営を実践するために、環境省が策定したガイドラインである“エコアクション21 (EA21) 認証登録制度”に登録し、自らの環境への取り組みを推進しています。またEA21に参加する事で、地域環境の取組みも積極的に行っています。

EA21とは、全ての事業者が、環境への取り組みを効果的・効率的に行うことを目的に、環境に取り組む仕組みを作り、活動し、継続的に改善し、その結果を社会に公表するための方法について、環境省が策定したガイドラインです。

EA21ガイドラインに基づき、取り組みを行う事業者を審査し、認証・登録する制度がEA21認証・登録制度です。

環境経営方針

私たちは環境問題、SDGs(持続可能な開発目標)を重視し、以下の方針を遵守します。
また、「佐倉ゼロカーボンシティ宣言」を支持し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します。

1. 環境経営体制の強化

環境改善を継続的かつ発展的に行っていく為の経営管理サイクルを強化します。

2. カーボンニュートラルを目標に、省エネルギーおよびCO2排出量削減の推進

エネルギー効率を高め、環境にやさしい事業活動に取り組みます。

3. 循環経済 (Circular Economy) の実現に向け、3R (Reduce, Reuse, Recycle) の推進

廃水、廃棄物及び食品廃棄物の低減、化学物質使用量削減、有効資源の再使用、紙、ダンボール、金属及び食品等の再資源化を積極的に実施します。グリーン購入の推進に努め、食品製造工程の改善により、原材料ロスを削減します。

4. 環境関連法規の遵守

環境法規を遵守し、国や地方の行政方針に従います。

5. 環境方針の周知と教育の推進

地球環境と共栄していくため、社員一人一人の環境保全の意識を高めます。
また、薬用植物の栽培と教育を推進し、薬用植物の保全に貢献します。

6. 地域の人々との共生

地域社会の一員として、地域の人々の安全と環境保全に努めます。

制定年月日：2021年10月8日
株式会社常磐植物化学研究所
代表取締役社長

立崎 仁

EA21 登録事業所の概要

● 事業者名及び代表者名

株式会社 常磐植物化学研究所
代表取締役社長 立崎 仁

● 所在地

本社・工場：千葉県佐倉市木野子158番地
<https://www.tokiwaph.co.jp/>
東京支社：東京都中央区日本橋本町4-4-16 日本橋内山ビル6F

● 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 生産本部 製造部 部長：鈴木 和浩
担当者 EA21事務局：内山 晋司
TEL 043-498-0007

● 事業内容（認証・登録の範囲）

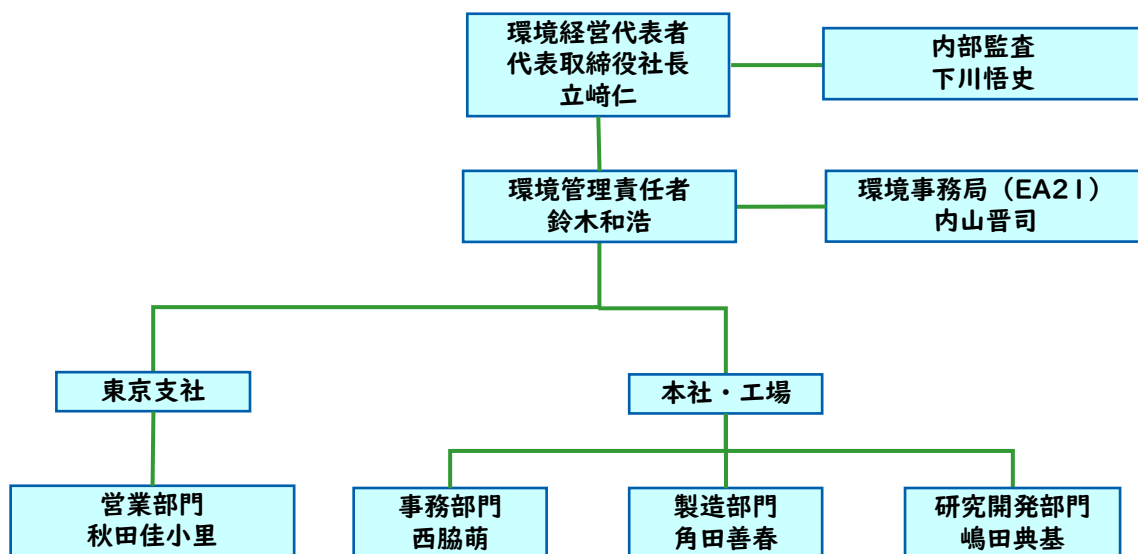
認証・登録番号：0003872
認証・登録年月日：2009/07/13
認証・登録事業者名：株式会社常磐植物化学研究所
対象事業所名：本社・工場、東京支社
所在地：千葉県佐倉市木野子158番地
事業活動内容：医薬品原薬、化粧品原料、
機能性食品原料及び食品添加物の製造・販売

● 事業規模

資本金 7,750万円
主要製品生産量 164 t/年
従業員 本社・工場 116名
東京支社 9名 (2022年4月1日現在)
工場延べ床面積 本社・工場 9,296㎡
東京支社 138 ㎡

EA21 環境経営組織図及び実施体制

● 環境経営システム組織図



● 役割・責任・権限

環境経営代表者	環境経営に関する統括責任 環境経営方針の策定及び見直しを全従業員に周知 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を用意 環境目標の設定を承認 環境管理責任者の任命 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	環境経営システムを構築、実施し、管理 環境活動実施計画書・記録書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境関連法規一覧の作成 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 環境活動実施計画の実績集計
内部監査	内部監査の実施及び内部監査チェックリストの作成 環境経営代表者への内部監査状況の報告及び改善提案
部門責任者	各部門ごとの環境活動実施計画書・記録書を作成 各部門ごとの環境活動実施手順書を作成 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 部門の問題点の発見、是正、予防処置、報告
全従業員	環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 個人行動計画表への記入

EA21 2021年度の環境活動内容

● 環境目標及び活動計画

	項目	取り組み内容	評価
本社・工場	二酸化炭素排出量 (電力)の節減	■各施設・工場での電気消し忘れ防止(チェックシートの作成) ■冷房28℃、暖房22℃以下設定の徹底 ■太陽光パネルの導入	○ ○ ○
	二酸化炭素排出量 (燃料)の節減	■ボイラー管理 ■蒸気漏れ定期点検及び修繕 ■電動式フォークリフトへの更新	○ ○ ○
	一般廃棄物の削減	■廃棄物量・分別の管理 ■資源ごみ回収量の集計及び金額集計	○ ○
	産業廃棄物の削減	■産業廃棄物量・分別の管理 ■ガラス器具破損防止 ■生ごみ処理機使用→社員昼食残飯のたい肥化による食品ロスの削減	○ ○ ○
	水使用量(放流量) の削減	■工場内の水漏れの定期点検 ■工場用水の使用量の把握と管理 ■工場用水・水漏れ箇所の修繕	○ ○ ○
	化学物質使用量の 削減	■エタノール回収量の把握と管理 ■エタノール購入量の管理 ■クロロホルム・アセトニトリルの使用量確認 ■毒劇物試薬における使用量の管理 ■抽出残渣乾燥機の導入	○ ○ ○ ○ ○
	製品についての再 生品の低下	■再生品の把握と管理 ■再生品発生の原因確認	○ ○
東京支社	環境経営効率の向 上[売上の向上]	■新規顧客開拓 ■国内の展示会出展・ウェビナー実施	○ ○
全社	地域清掃活動	■月一回の地域周辺美化活動の実施	○



EA2 | 2021年度の環境活動内容

● 環境活動計画の目標値、実績及びその評価

項目	目標値と実績値	評価
電力使用量	目標値：2,623,314kWh 実績値：2,619,240kWh	目標達成！
総化石燃料使用量	目標値：852千L 実績値：804千L	目標達成！
二酸化炭素排出量	目標値：3,211,602 CO2kg 実績値：2,842,315 CO2kg	目標達成！
一般廃棄物量	目標値：35.0トン 実績値：33.3トン	目標達成！
食品・産業廃棄物量	目標値：95.0トン 実績値：65.9トン	目標達成！
化学物質使用量	目標値：680.8 千L 実績値：660.0千L	目標達成！
総排水量	目標値：93,289 ^{m³} 実績値：99,343 ^{m³}	目標未達成

※電力の二酸化炭素排出係数はシナジアパワー2020年の値0.386kg-CO₂/kWhを使用する。

※再生利用等実施率の実績値に関する「内訳」：

①発生量 396.0 t ②発生抑制の実施量 466.6 t ③再生利用量 396.0 t ④熱回収実施量 0.0 t
⑤廃棄物の減少実施量 0.0 t ⑥再生利用以外の実施量 0.0 t ⑦廃棄物処分実施量 0.0 t

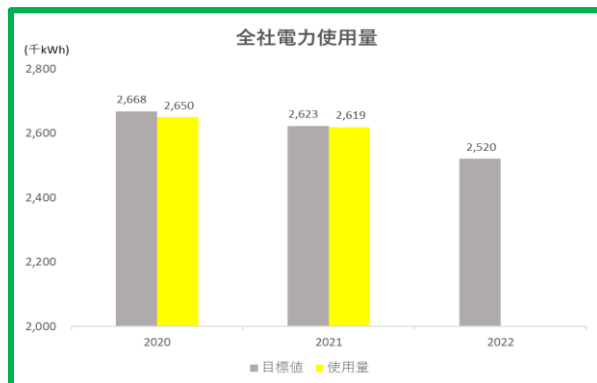
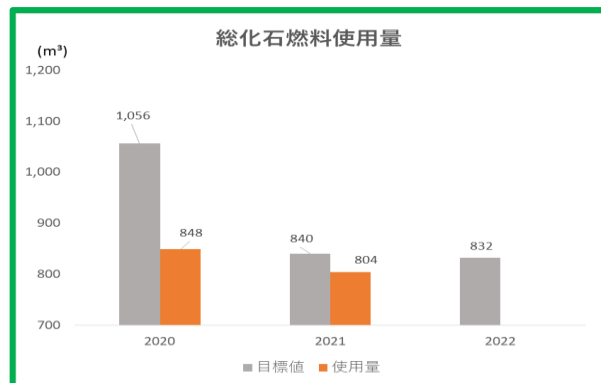
食品循環資源の再生利用実施率(%) = $((②+③+④ \times 0.95 + ⑤) \div (①+②)) \times 100$
= 100.0%



EA21 環境活動の取組計画と評価

● 2021年度環境実績及び次年度目標（全社総合データ）

2021年度目標対実績（緑枠＝達成、赤枠＝未達成）

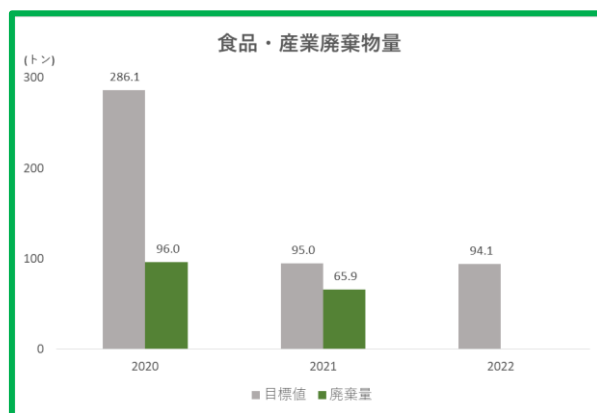
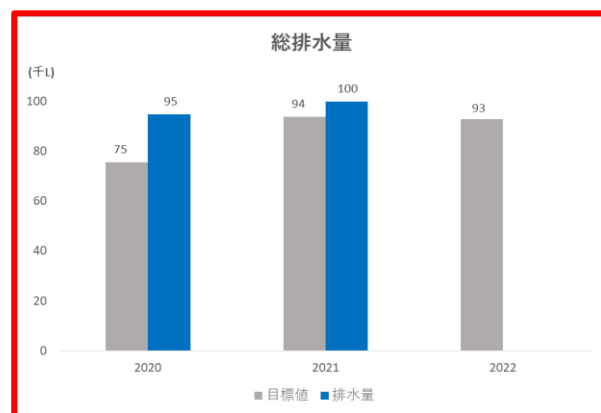


コメント

2020年度に引き続き、蒸気使用量削減のため、配管の蒸気漏れの修繕と社用車利用時のエコドライブの徹底を実施した。その結果として2021年の目標を達成することができた。

コメント

2021年度前半は電気使用量が多かったが、2022年1月から一部の工場の屋根に太陽光発電パネルを設置し、約10%もの電気使用量の削減に貢献した。2022年度も引き続き節電および太陽光発電量のモニタリングを継続して目標を達成する。

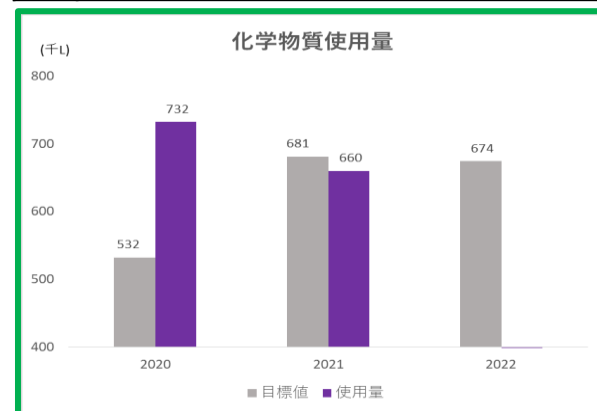
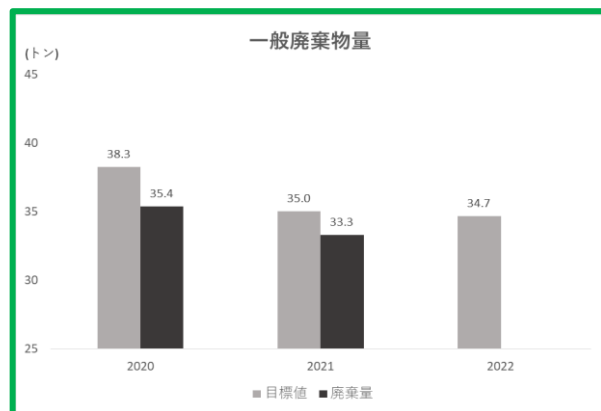


コメント

2021年度は製造用水、本社棟利用水のいずれも前年度より増えてしまい、目標の達成には至らなかった。2022年度は節水が出来る仕組みを整え、水のムダ使いを減らしていく。

コメント

2021年度は2020年度と比較して約30%もの廃棄物削減をし、目標を達成できた。生産本部で発生する抽出残渣廃棄物量が抑えられたことが達成に大きく貢献している。



コメント

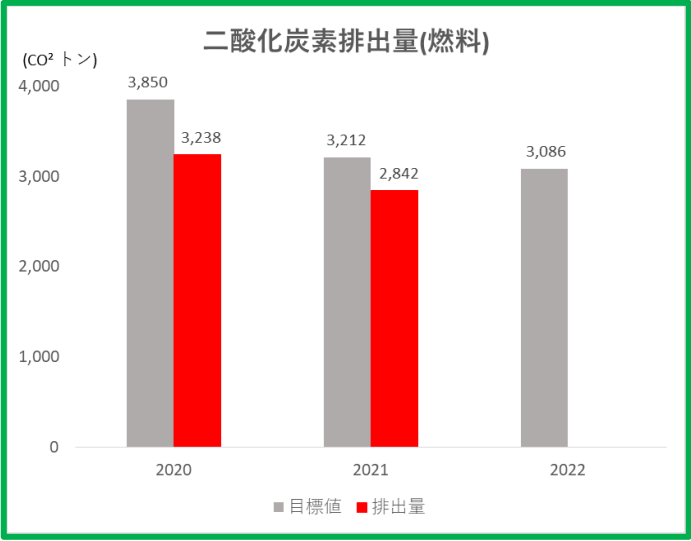
2020年度からのペーパーレス推進の動きが2021年度にも効果が表れ、当初の目標よりも紙の使用量が減り、2020年度比の約7%の削減に成功した。

コメント

2021年度より、有機溶媒を利用した抽出の残渣を乾燥、回収する残渣乾燥機を導入し、再利用を実施することで有機溶媒の新規購入量を抑えることができた。

EA2 I 環境活動の取組計画と評価

● 2021 年度環境実績及び次年度目標（全社総合データ）



コメント

二酸化炭素排出量に関しては電気と化石燃料から換算して算出している。2022年度はLNGを**カーボンニュートラル化されたLNGへ全量変換**し、2013年比較で総二酸化炭素排出量を**50%以上削減**することを目指す。

一方で、エネルギーはクリーンなものに置き換わるとはいえ、一人一人の省エネ活動は継続または強化していき、一日でも早くカーボンニュートラルを達成する。

化学燃料換算係数
ガソリン：2.32kg-CO₂/L
軽油：2.58kg-CO₂/L
灯油：2.49kg-CO₂/L
都市ガス：2.24kg-CO₂/Nm³
電力換算係数：0.386kg-CO₂/kWh

EA2 I 環境活動の取組計画

● 2022年度 主な取り組み予定

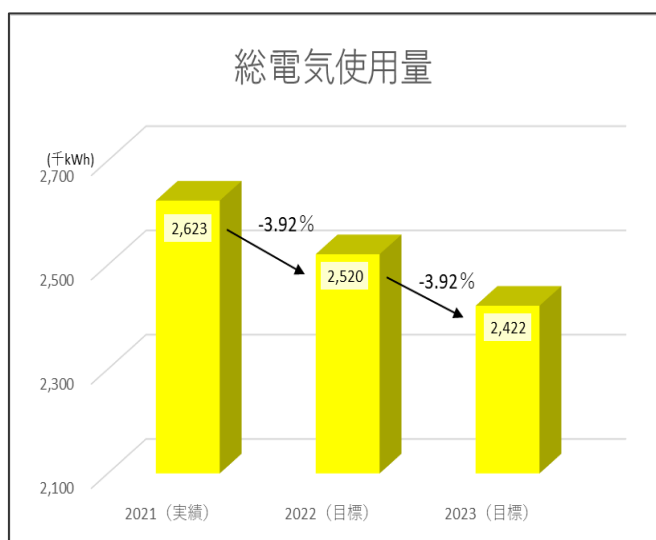
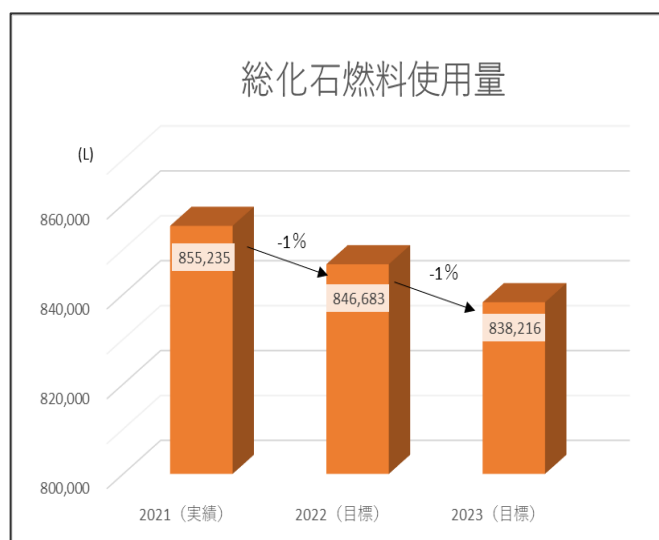
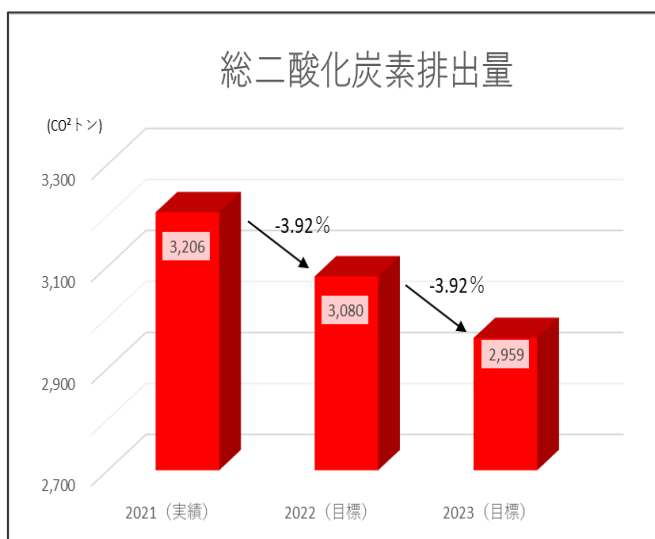
	項目	取り組み内容
本社・工場	二酸化炭素排出量（電力）の節減	■各施設・工場での電気消し忘れ防止(チェックシートの作成) ■冷房28℃、暖房22℃以下設定の徹底 ■ 太陽光パネルの発電量確認
	二酸化炭素排出量（燃料）の節減	■ボイラー管理 ■蒸気漏れ定期点検及び修繕 ■電動式フォークリフトへの更新 ■ カーボンニュートラル化されたLNGへ全量変換
	一般廃棄物の削減	■廃棄物量・分別の管理 ■資源ごみ回収量の集計及び金額集計
	産業廃棄物の削減	■産業廃棄物量・分別の管理 ■ガラス器具破損防止 ■生ごみ処理機使用→社員昼食残飯のたい肥化による食品ロスの削減
	総排水量の節減	■工場内の水漏れの定期点検 ■工場用水の使用量の把握と管理
	化学物質使用量の削減	■エタノール回収量の把握と管理 ■エタノール購入量の管理 ■クロロホルム・アセトニトリルの使用量確認 ■毒劇物試薬における使用量の管理 ■ 抽出残渣乾燥機からの有機溶媒回収量の記録
	製品についての再生品の低下	■再生品の把握と管理 ■再生品発生の原因確認
東京支社	環境経営効率の向上[売上の向上]	■新規顧客開拓 ■国内の展示会出展・ウェビナー実施
全社	地域清掃活動	■月一回の地域周辺美化活動の実施

EA21 環境活動の取組計画と評価

● 中期目標（2021～2023）

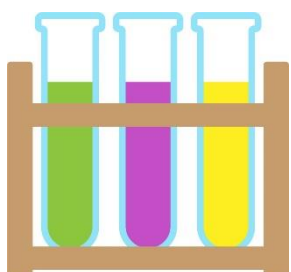
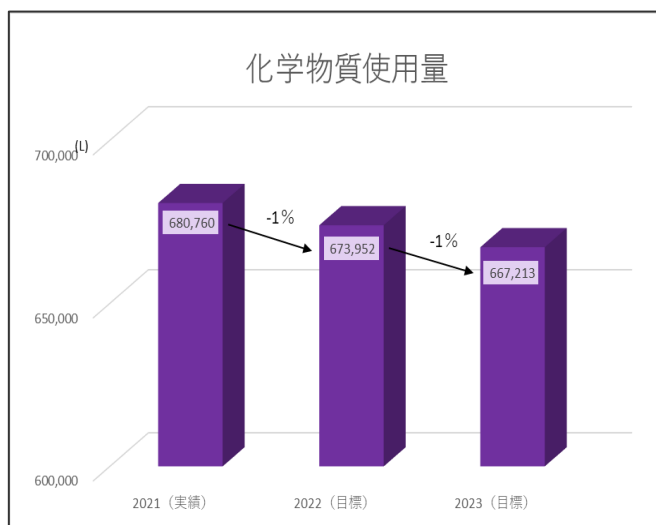
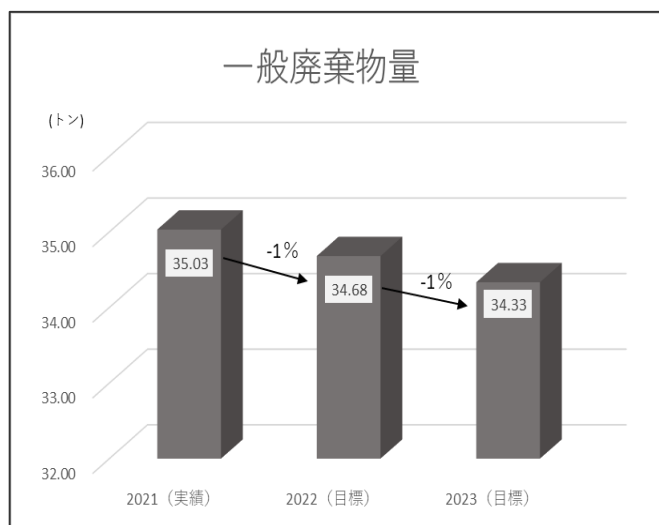
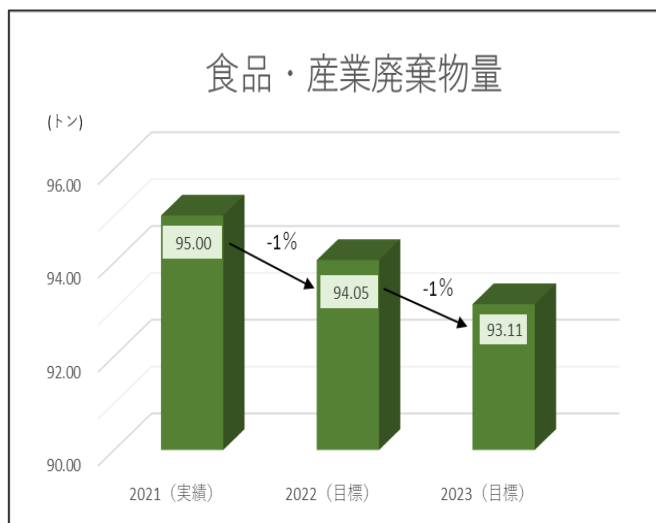
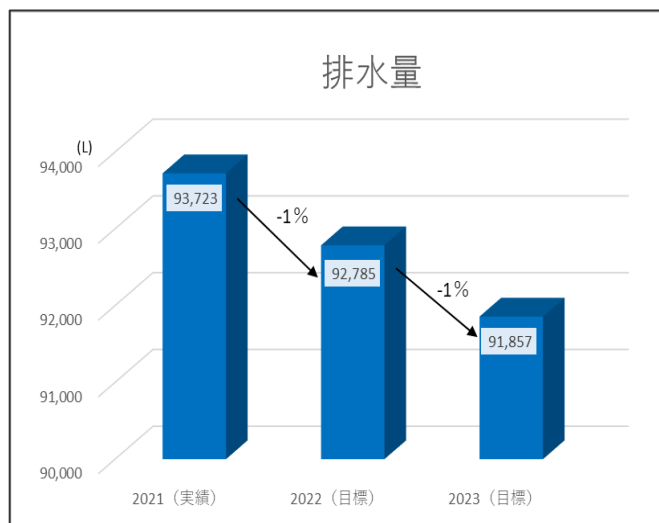
2022年6月に「CNLバイヤーズアライアンス」の加入をし、使用するエネルギーが全てグリーンエネルギーにすることを実現した。本エネルギーの使用量を少しでも削減するべく、本年度2022年からさらなる省エネを実施していく。

また、一般廃棄物や産業廃棄物、水、化学物質に関しては前年度の1%以上の削減を目標数値としている。



EA21 環境活動の取組計画と評価

● 中期目標（2021～2023）



● 環境関連法規制等の遵守状況

適用法令等の遵守状況

違反、訴訟等の有無：下記のように環境関連法規制等の違反はありません。

また食品リサイクル法における再生利用等の実施率は80%以上を維持できています。
なお関係当局からの違反等の指摘は、過去11年間ありません。

設備・項目	環境関連法規	届出	定期報告	定期点検	その他
全事業所	温対法		○		
	下水道法		○	○	
	省エネ法	○	○		
本社・工場	工場立地法	○			
	労働安全衛生法			○	健康診断
工場設備	振動規制法	○		○	
	騒音規制法	○		○	
工場、蒸留塔、地下タンク等	消防法	○		○	
ボイラー等	大気汚染防止法	○		○	
スプレー乾燥機、残渣乾燥機	悪臭防止法	○		○	
浄化槽	浄化槽法	○		○	
工業用井戸	工業用水法		○		許可有
高圧ポンベ等	高圧ガス保安法			○	
冷蔵、冷凍コンテナ等	フロン排出抑制法				該当機器の調査・点検
対象家電機器	家電リサイクル法			○	
食品廃棄物	食品リサイクル法		○		
自動車	自動車リサイクル法			○	
堆肥場	肥料取締法	○		○	
一般廃棄物及び産業廃棄物	廃棄物処理法		○		マニフェスト管理

● 代表者による評価と見直し

総括

まず、2020年度の課題であった一般廃棄物量と化学物質使用量を計画以上に削減できたことは評価できる。排水量管理は昨年来の継続課題であり、具体的な削減方策を定める段階にある。総二酸化炭素排出量は、ボイラーおよび周辺設備の更新、冷凍・冷蔵コンテナの使用削減、太陽光パネルの設置等により、計画的に総量を削減できている。

新年度に向けては、2022年6月からエネルギーの大半を占めるLNGをカーボンニュートラル化されたLNGへ全量変換し、2013年比較で総二酸化炭素排出量を50%以上削減、またはカーボンニュートラル化させる。

未来に向け、1日でも早いゼロカーボン企業を目指し、あらゆる改善、努力を継続する。

EA21 環境活動取り組み例

【ゼロエミッション活動】

植物資源を無駄なく使用し、廃棄するものを少なくすることにより、環境への負荷を軽減します。

植物エキスの製造後に排出される搾りかす、及び排水処理場の余剰汚泥を肥料へリサイクルするなどの取り組みを行っています。リサイクルされた肥料は作物の栽培に利用され、新たな植物資源を生み出しています。



植物エキス製造



栽培



残渣堆肥化



【抽出残渣乾燥機導入】

抽出残渣に残っている抽出溶媒（有機溶媒）を乾燥工程で回収し、その回収した溶媒を再精製することで、再利用できる状態にしています。これにより、化学物質の使用量抑制や、廃棄物における環境負荷の低減につながります。

【水質に配慮した生産活動】

工場での水資源の無駄づかいをなくすための改善を積み重ねるとともに、使用後の排水をきれいにし、自然に還すために水質保全に取り組んでいます。工場に併設されている排水処理設備においては、「活性汚泥処理法」を採用しています。微生物が排水の汚れである栄養成分を食べることにより、汚れを取り除いています。



【太陽光パネルの設置】

工場の屋根に、太陽光パネルの設置を進めています。発電した電気を工場での製品製造に活用し、発電時に発生するCO2の削減につながります。現在全体の4割の工場の屋根に設置しており、工場で使用される電力の約10%を供給しています。



EA21 環境活動取り組み例

【周辺地域美化活動】 月1回開催！

月に一回の頻度で、千葉本社敷地に面している道路脇のゴミ拾いとあいさつ運動を行っております。近隣の皆様が気持ちよく一日をスタートできるように、これからも美化活動に努めて参ります。

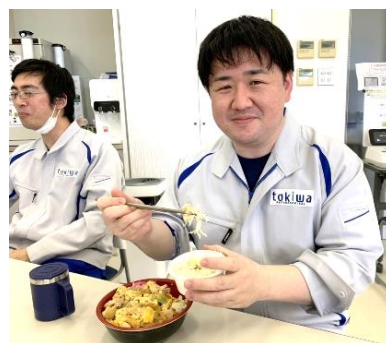


【グリーン調達・グリーン購入】

グリーン調達とは、原材料・資材・設備などの購入に際し、有害物質を含まない、資源が有効に活用されている、など環境に配慮した物品・サービスを優先的に選択することです。持続可能な社会の構築のために、使用する物品について、環境負荷ができるだけ小さい原材料・資材・設備等の購入をめざします。

【マイ箸・マイコップの使用】

昼食時にはマイ箸・マイコップを使用しています。割り箸・紙コップの使用が当たり前だった以前に比べ、エコ意識が高まっていることを実感しています。



【食品ロス低減に向け生ごみ処理機活用】



昼食時の食べ残しを微生物の力でたい肥化し、食品ロスの低減に努めています。出来たたい肥は、自社ハーブ園で新たな植物を育てるために使用されています。

屋内生ごみ処理機

自社ハーブ園の土

健康経営への取り組み



当社は、創業100周年に“世界の植物化学企業”となることを目標に掲げています。その目標は、サステナブルな従業員なしには到達できないものです。当社では、従業員の健康を第一に考えた健康経営を推進しています。

waku-waku健康宣言

制定年月日：2022年4月1日

常磐植物化学研究所は、「社員の幸福と社会の発展に貢献する」ことを経営理念に掲げており、社員の健康こそが社員の幸福と全事業におけるサステナビリティ活動の根幹であると考えます。そこで、独自の健康経営として、「waku-waku健康宣言」を実施し、社員の健康増進に努めます。

1. 感謝とワクワク

人、社会、そして植物に生かされていることに感謝し、ワクワクを大事にする。

2. ベジファーストと噛む習慣

野菜を先によく噛んで食べる。野菜や果物の300グラム（キャベツ1/4玉相当）摂取を推奨。

3. 適度な運動習慣

ラジオ体操指導員資格の取得と3,000歩/日以上ウォーキングを推奨する。

4. 「健康経営サプリ™」の提供

「健康経営サプリ™」を通じ、健康増進の機会を提供する。

5. 健康的な知識・意識の向上

生活習慣についての情報提供と、学習の機会を定期的に設ける。

6. 健康診断の実施と人間ドックの推奨

健康診断、ストレスチェック、健康アンケートの実施と人間ドック受診を推奨する。

新型コロナウイルス感染予防対策

当社は、会社における新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底しております。

<取り組み例>

- ・各フロア、各部屋の消毒の実施。
- ・出社時の検温・消毒の徹底
- ・全従業員対象のPCR検査を実施。
- ・食堂、応接室、事務所におけるパーティションおよび高性能空気清浄機の設置。
- ・職域接種の実施

1回目（2021年7月）、2回目（2021年8月）、3回目（2022年3月）

ウォーキングイベントへの参加

岩瀬薬品株式会社主催の企業間・従業員間で歩数を競うイベント「ウォーキングトライ千葉2021秋」に参加し、優勝を含め当社の社員が8名入賞しました。

【団体の部】12企業中

- ・第2リーグ総合 2位

【個人の部】377人中

- ・個人累計歩数 1位
- ・個人デュエル（1日の歩数を1対1で競う部門） 1位、2位、他100位入賞6名

健康経営サプリ™

当社の事業を活かした健康経営への取り組みの一つとして、“健康経営サプリ™”を導入しました。

健康経営サプリ™は、社員の衆知を結集し、創業から70年以上にわたり研究し続けてきたエビデンス豊富な当社の植物エキスをふんだんに配合した、“社員の、社員による、社員のための”オリジナル処方サプリメントです。

健康経営サプリ™は、福利厚生の一環として無料で提供しています。

社員の健康に寄与することはもちろん、社員が自社の製品について知るきっかけにもなっています。



当社の睡眠素材「ベネトロン®」とGABAを
組み合わせた「健康経営サプリ ラフマ&GABA」▶



働きやすい職場づくり



当社は、一人ひとりがやりがいと誇りを持って働くことができるよう取り組んでいます。

ハラスメント防止対策

当社はハラスメント防止規程を策定し、ハラスメントに関する相談窓口を社内に設置しております。また、部下の指導におけるパワハラ防止のため、管理職を対象にパワハラ対策セミナーを開いています。「ハラスメント防止宣言（下記）」のもと、社員一人一人をハラスメントから守り、誰もが安心して快適に働ける職場づくりに努めて参ります。

ハラスメント防止宣言

1. 行為者への厳正なる措置

当社はハラスメント行為またはそれらを見過ごす行為を断じて許しません。
発覚した場合にはハラスメント防止規程に基づき懲戒処分を含めて厳正に措置します。

2. 被害者の救済

当社はハラスメント被害者・相談者を必ず守ります。
相談窓口を設け、迅速で的確な解決を目指します。
相談者や事実関係の確認に協力した方に対し、不利益が生じない事をお約束します。

制定年月日：2022年4月1日
株式会社常磐植物化学研究所
代表取締役社長

立崎 仁



ワークライフバランス

長時間労働の削減、休暇の取得促進、様々な働き方を通じて従業員の健康を守り、仕事とプライベートの調和のとれたワークライフバランスを推進しています。

●残業時間の削減

業務の効率化を図り、残業時間の削減に向けて取り組んでいます。19時には本社の照明が自動的に消灯するようになっており、遅くまで残らないように対処しています。また、月2回のノー残業デーを設定しています。

●有給休暇取得促進

1日、半日単位その他、朝または夕方における2時間単位での有給休暇付与制度を導入し、取得率向上につなげています。

また、年に一度、有給休暇に併せて食事券を付与する『ハッピーファミリーデー』の取り組みも、2009年より継続しています。

●様々な働き方

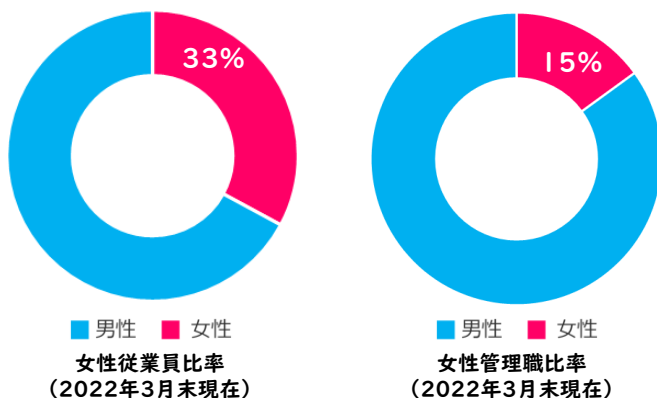
在宅勤務や時差出勤制度を導入し、生活環境に合わせた働き方を選べるようにしています。

2021年1月には、“テレワーク東京ルール”実践企業宣言に申請・登録し、独自のテレワークのルールを策定し、実践しています。

女性の活躍支援

女性の活躍支援に取り組んでいます。新任管理職への研修などを実施。女性がこれまで以上に活躍できる職場環境づくりを展開しています。また、お子様の成長に合わせて、柔軟に時短勤務制度を取り入れています。

●女性従業員・女性管理職比率



●育児休業制度・育児短時間勤務利用者数

年度	2019	2020	2021
育児休業制度利用者数 (人)	3	1	0
育児短時間勤務利用者数 (人)	3	3	3

経営理念研修

三方よしビジネスサポート研究所の古望高芳先生をお招きし、“経営理念研修”を実施しました。2020年度に初めて実施し、それから3年間連続で実施しています。“経営理念研修”とは、当社の経営理念をより深く理解し、企業ビジョン設定・目標達成に向けて何が必要かを考え、経営に実装していくための研修です。この研修の経験を、今後の仕事に活かしていき、創業100周年に“世界一の植物化学企業”になれるよう、精進してまいります。



キャリア支援

OJTを通じ自立型人材を育成します。

全ての社員に成長する機会を与えられるよう階層別、テーマ別研修を設けています。最近では、管理職のヒューマンスキルを高める研修や新人・若手社員の早期戦力化に向けた研修に力を入れています。

1カ月の勤務時間のうち8時間以上を学習時間を設定し、個人の能力アップにつながる学習を推進しています（例：外部セミナー受講、資格取得に向けた勉強など）

永年勤続・優良従業員表彰

11月2日に佐倉商工会議所主催で行われた「永年勤続・優良従業員表彰式」にて、当社社員6名が表彰されました。30年表彰で5名、20年表彰で1名が表彰され、全表彰者代表の謝辞を当社社員が務めました。

長きにわたり会社を支え、共に会社の成長・発展を見守ってくれている社員に感謝です。



lonl制度

若手社員一人一人に中堅以上の社員をメンターとしてつけ、定期的に面談を行うlonl制度を設けています。メンターは他部門の社員をつけており、部署内では相談しにくいことなども相談でき、若手社員のメンタルサポートや悩みの解決の糸口を見つけることができます。

人と人が繋がる職場づくり

会社組織で働くうえで重要であるのは、社員がお互いに尊重し合い、認め合うことです。社員全員が同じ文章を読み、感想を述べ合い、美点重視で意見交換をする「社内木鶏会」を実施しています。それぞれの考え方を尊重し、認め合う事で、仕事をする環境がより良いものになっています。

若手社員の日帰り旅行

11月20日に第59回社員旅行を行いました。今年度は感染予防に配慮し、新人・若手中心の小グループで横浜の「カップヌードルミュージアム」と「よこはまコスモワールド」へ日帰りで行ってきました。

カップヌードルミュージアムではオリジナルカップヌードルを作り、よこはまコスモワールドでは観覧車やジェットコースターなどのアトラクションを楽しみました。短い時間ではありましたが、部署をこえて親睦を深め、楽しむことができました。



労働安全・衛生への取り組み



従業員が安心して働けるよう、健康と安全はすべてに優先し、労災事故件数0（ゼロ）を目標に、安全な職場づくりに取り組んでいます。一人ひとりの安全意識の向上、設備面・作業面のリスク低減に向けた活動を継続しています。

安全衛生スローガン

安全無しに、幸福無し。衛生無しに、幸運無し。

労働安全衛生方針

1. 安全な労働環境をつくります

労働災害があれば、事業が如何に順調であろうと幸福などあり得ません。日々労働環境を見直し、過去の災害を反省し、安全な職場を提供します。

2. 衛生的な労働環境をつくります

衛生的な環境を保つことで、精神衛生、肉体衛生を保つことができ、お客様からの信用・信頼が得られます。幸運をそのように考えます。

3. 教育・訓練を継続的に実施します

安全、衛生の意識向上と職場環境の提供に、継続的な学びと訓練は不可欠です。社員一人一人が学び、意識向上できる環境を提供します。

4. 必要な資格・技能を取得します

労働安全衛生に必要な知識、技能を獲得するために、労働安全衛生に取り組む社員に対し、必要な資格取得を推奨し、取得します。

5. 法令を遵守します

労働安全衛生に係る法令を遵守し、定期的な見直しと改善を実施します。

制定年月日：2021年4月1日
株式会社常磐植物化学研究所
代表取締役社長

立崎 仁

労働安全衛生に関わるマネジメント体制

毎月「安全衛生委員会」を開催し、「リスクアセスメント」による潜在的リスクの低減活動を中心に、全員参加の安全衛生活動を推進しています。

労働安全面のさらなる向上に取り組むとともに、メンタルヘルスに重点を置いて衛生・健康面の取り組みを強化しています。

5S活動、安全ルールの順守、リスクアセスメントの徹底、教育・支援の強化、災害撲滅のPDCAサイクルの確実な実行に努めています。

労働安全・衛生への取り組み

■労働安全教育

外部講師を招いての安全教育（AED使用方法、救命救急講習など）

■リスクアセスメント担当教育

■各工程におけるリスクアセスメント教育

■機械操作によるリスクアセスメント教育

■技能講習・特別教育の受講

■外部講習への参加

自主的な安全衛生管理の向上

■安全衛生基準の設定

■安全衛生委員会会議の実施

■全国完全週間、全国労働衛生週間、

長期連休明け社内独自安全週間の設置

■安全衛生委員の構内巡視と従業員への安全遵守

■保護具着用の徹底

■作業手順の周知と遵守



健康の保持促進と快適な職場環境の形成

■ストレスチェックの実施

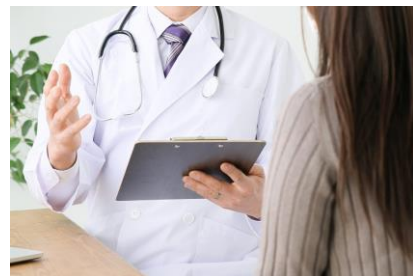
■ノー残業デーの設置

■労働時間管理、長時間労働者の状況確認とヘルスケアサポートの推進

■産業医との健康相談窓口の開設

■5S活動の実施

■熱中症予防対策の実施および熱中症が疑われる場合の迅速な対応



資格取得促進・法令遵守

■危険物取り扱いに関する資格取得の奨励

■フォークリフト技能講習



“世界一の植物化学企業” を目指して



takiwa
PHYTOCHEMICAL

▼HP▼



▼facebook▼



▼YouTube▼



Sana
自然と美と健康

▼HP▼



▼Instagram▼



べねたむ®

▼Twitter▼



▼Instagram▼



佐倉ハーブ園
sakura herb garden

▼HP▼



▼facebook▼



▼Twitter▼



▼Instagram▼



▼YouTube▼



最後まで読んでくれて
ありがとう！



べねたむ®

takiwa 株式会社 常磐植物化学研究所
PHYTOCHEMICAL

本社・工場 〒285-0801 千葉県佐倉市木野子158番地
東京支社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-4-16

TEL : 043-498-0007 FAX : 043-498-0561
TEL : 03-5200-1251 FAX : 03-5200-1256